

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

廃タイヤボイラから

ヒートポンプへの更新プロジェクト

排出削減事業者名：株式会社十和田ポニー温泉

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社十和田ポニー温泉
排出削減事業を実施する事業所 (複数の事業所で実施する場合、行を挿入し全事業所を記載すること)	
事業所名	ホテルポニー温泉
住所	〒034-0001 青森県十和田市大字三本木宇佐井幅 1 6 7 - 1
排出削減事業共同実施者 (J-クレジット保有予定者)	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 FT カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

廃タイヤボイラからヒートポンプへの更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

廃タイヤボイラ 3 基からヒートポンプ 1 基へ更新する。省エネルギーするとともに、低炭素燃料を使用することで、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

廃タイヤボイラから温泉排熱を利用する高効率型ヒートポンプに更新する。高効率化によって省エネルギーを図るとともに、廃タイヤよりも低炭素な燃料である電力に転換することにより、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2012年2月15日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年4月1日 ～2020年2月14日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
002	ヒートポンプの導入による熱源機器の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用していない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用していない。

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

ヒートポンプ及びヒートポンプから温水の供給を受ける設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合) 変更理由
EL <sub>PJ</sub>	事業実施後電力使用量	kWh	【2016年4月～2017年3月】 712,860 【2017年4月～2018年3月】 728,500 【2018年4月～2020年2月 14日】1,302,654	請求書	変更なし
ε <sub>PJ</sub>	事業実施後ヒートポンプ効率	%	239 【高位発熱量基準】	カタログ値	変更なし
ε <sub>BL</sub>	事業実施前廃タイヤボイラ効率	%	80 【高位発熱量基準】	カタログ値	変更なし
α	廃タイヤあたり着火用灯油使用割合	L/GJ	2.35	事業実施前の実績値	変更なし
HV <sub>fuel,BL</sub>	灯油の単位発熱量	GJ/L	0.0365	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
CF <sub>fuel,BL-1</sub>	廃タイヤの単位発熱量あたりのCO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0505【2016年度】 0.0504【2017年度】 0.0500【2018年度】	日本国温室効果ガスインベントリ報告書	変更なし
CF <sub>fuel,BL-2</sub>	灯油の単位発熱量あたりのCO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0686	J-クレジット制度デフォルト値	変更なし

CF <sub>electricity</sub>	電力の CO2 排出係数	tCO2 /kWh	0.000516 【2016 年度全電源】 0.000496 【2017 年度全電源】 0.000463 【2018 年度全電源】	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
---------------------------	--------------	--------------	---	------------------	------

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
712,860 (kWh)		0.000516 (tCO2/kWh)	367.8
728,500 (kWh)		0.000496 (tCO2/kWh)	361.3
1,302,654 (kWh)		0.000463 (tCO2/kWh)	603.1
EM <sub>PJ</sub>			1,332.2 (t-CO2)

(注) 電力の CO2 排出係数は排出削減量の評価が有利になるため、全電源方式を採用した。

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
712,860 (kWh)	0.0036 (GJ/kWh)	0.0505 (tCO2/GJ)	387.3
239 (%)			
80 (%)			
728,500 (kWh)	0.0036 (GJ/kWh)	0.0504 (tCO2/GJ)	394.8
239 (%)			
80 (%)			
1,302,654 (kWh)	0.0036 (GJ/kWh)	0.0500 (tCO2/GJ)	700.9
239 (%)			
80 (%)			
29,512 (GJ)	0.0365 (GJ/L)	0.0686 (tCO2/GJ)	173.7
2.35 (L/GJ)			
EM <sub>BL</sub>			1,656.7 (t-CO2)

### 6.3 リークエージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	1,656.7
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	1,332.2
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	324

## 7 省エネルギー量

	原油換算 (kl)		
	ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
	2,289.7	705.8	1,583.9

省エネ量=2,108.7+181.0-705.8 =1,583.9 (kl)

## 9 再生可能エネルギー利用量

本事業は再生可能エネルギーを利用しない。